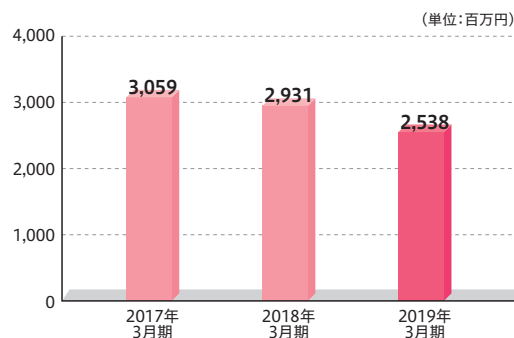


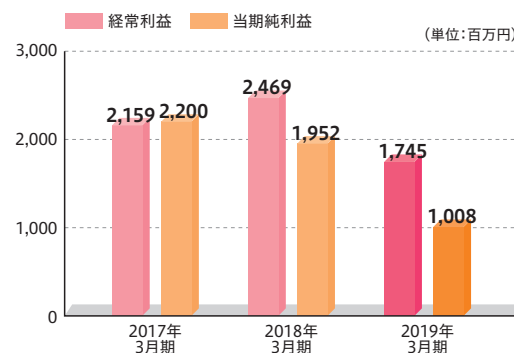
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が減少したものの、資金利益が減少したことなどから、前年同期比3億93百万円減少の25億38百万円となりました。



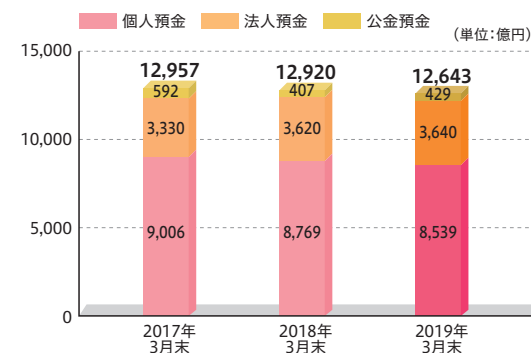
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、前年同期比7億23百万円減少の17億45百万円、当期純利益は、前年同期比9億44百万円減少の10億8百万円となりました。



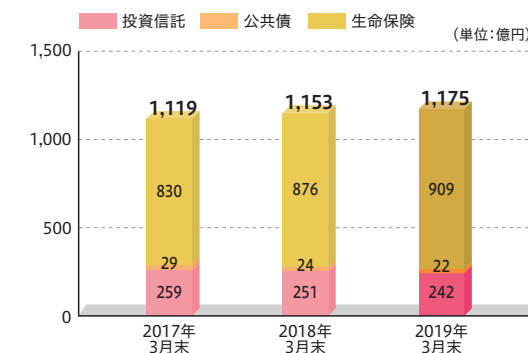
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、法人預金は増加したものの、個人預金が減少したことなどから、2018年3月末比277億11百万円減少の1兆2,643億円となりました。



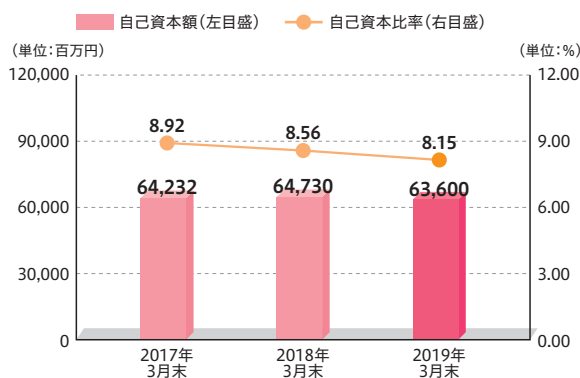
預かり資産の状況

預かり資産残高は、お客さまの保険運用ニーズが依然として高く、生命保険残高が増加したことなどから2018年3月末比21億82百万円増加の1,175億3百万円となりました。



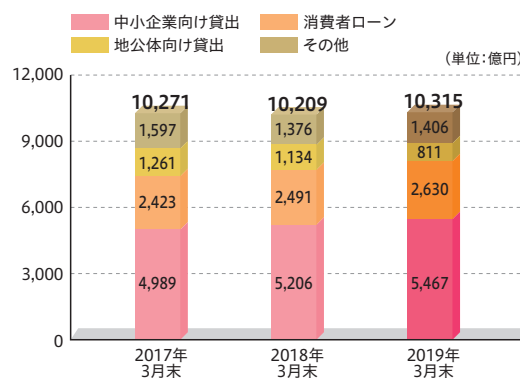
自己資本比率の状況

単体の自己資本比率は、中小企業向け貸出に注力したことに伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、2018年3月末比0.41ポイント低下の8.15%となりました。



貸出金の状況

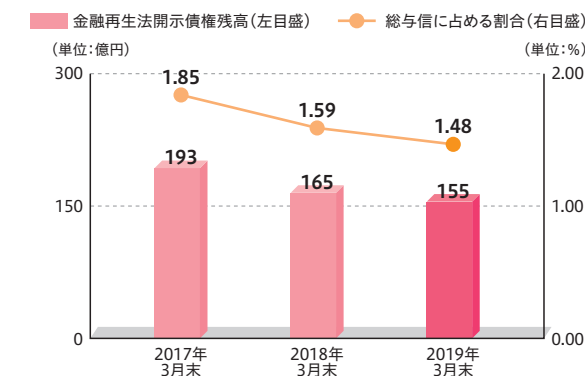
貸出金残高は、地公体向け貸出が減少したものの、中小企業向け貸出や消費者ローンが増加したことにより、2018年3月末比105億94百万円増加の1兆315億56百万円となり、きらやか銀行として過去最高の貸出金残高となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、取引先企業の財務改善支援を組織的に実施した結果、2018年3月末比9億65百万円減少の155億54百万円となりました。総与信額に占める割合は、2018年3月末比0.11ポイント低下の1.48%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



用語解説

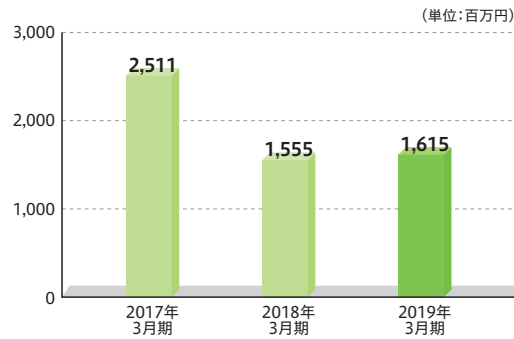
■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

■ **経常利益** 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ **当期純利益** 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

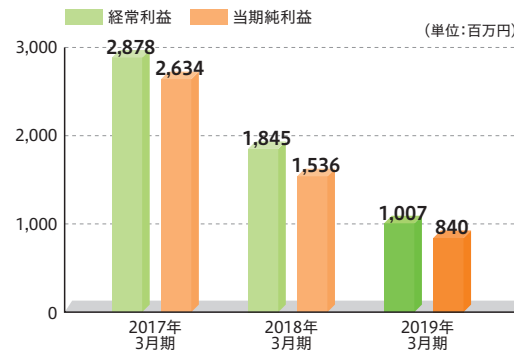
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、生命保険販売手数料の増加等による役務取引等利益の増加に加え、物件費が減少したことなどから、前年同期比59百万円増加の16億15百万円となりました。



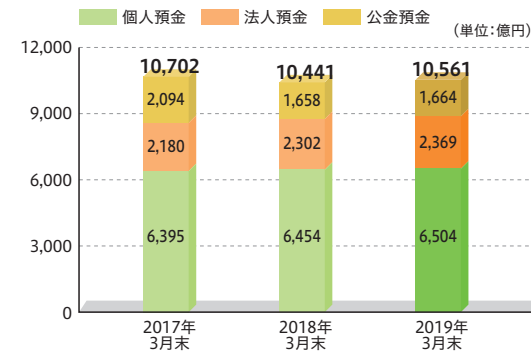
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、前年同期比8億38百万円減少の10億7百万円、当期純利益は、前年同期比6億96百万円減少の8億40百万円となりました。



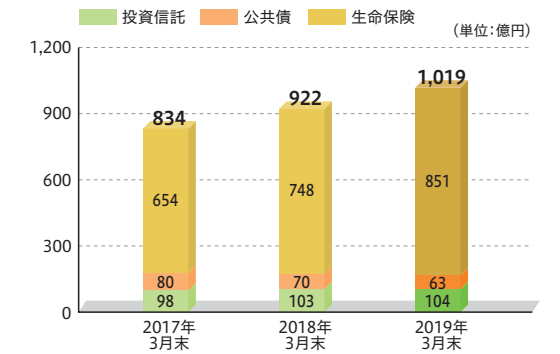
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、個人預金と法人預金が増加したことなどから、2018年3月末比120億32百万円増加の1兆561億96百万円となりました。



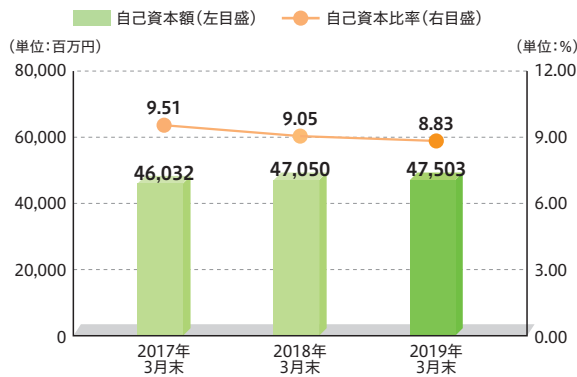
預かり資産の状況

預かり資産残高は、お客さまの資産運用ニーズへの対応により生命保険残高が増加したことなどから、2018年3月末比96億33百万円増加の1,019億30百万円となりました。



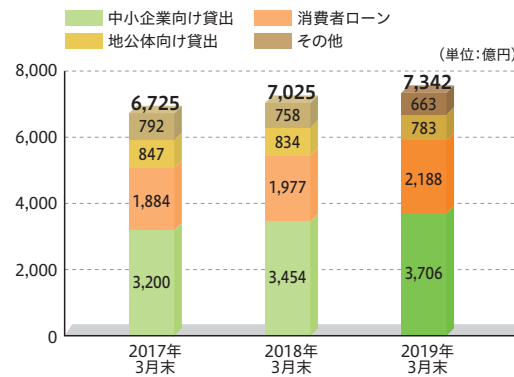
自己資本比率の状況

自己資本比率は、当期純利益を8億40百万円計上したことで自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、2018年3月末比0.22ポイント低下の8.83%となりました。



貸出金の状況

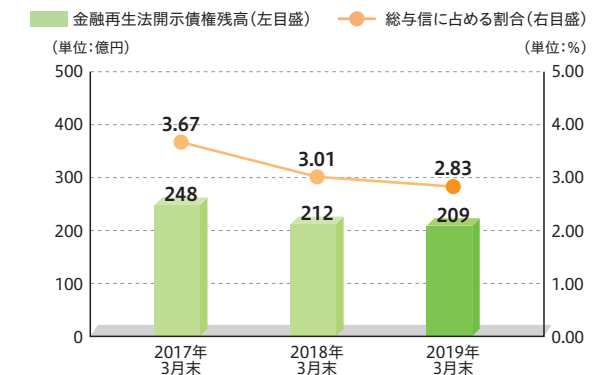
貸出金残高は、お客さまの資金需要への積極的な対応により中小企業向け貸出や住宅ローンが増加したことなどから、2018年3月末比316億89百万円増加の7,342億67百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法開示債権の残高は、2018年3月末比3億75百万円減少の209億3百万円となりました。総与信額に占める割合は、2018年3月末比0.18ポイント低下の2.83%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



用語解説

■ コア業務純益 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。